

【開講日】平成29年7月26日（水）

【はる】 三鷹サテライト教室

文化

三鷹

291071f

【連続講座】史料から日本の歴史を考える 第三弾

# 戦国大名の同盟と戦争

受講料 (振込額)	1,500円 ※全7講座お申込みの場合 9,000円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	水曜日		日程  7月26日	
	時間	10:00～11:30 ※この講座のみ時間が異なりますのでご注意ください。			
	回数	全1回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	慶応義塾大学非常勤講師 <b>丸島和洋</b> （まるしま かずひろ）				
	1977年大阪府生まれ、東京都調布市育ち。慶応義塾大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（史学、慶応義塾大学）。国文学研究資料館研究部特任助教などを経て現職。2016年度大河ドラマ「真田丸」時代考証。専門は日本中世史。主な著書に『戦国大名武田氏の権力構造』（思文閣出版、2011年）、『戦国大名の「外交」』（講談社選書メチエ、2013年）、『郡内小山田氏―武田二十四将の系譜―』（戎光祥出版、2013年）、『図説 真田一族』（同前、2015年）、『真田四代と信繁』（平凡社新書、2015年）、『真田一族と家臣団のすべて』（KADOKAWA 新人物文庫、2016年）、『戦国大名武田氏の家臣団―信玄・勝頼を支えた家臣たち―』（教育評論社、2016年）、『真田信繁の書状を読む』（星海社新書、2016年）ほか。				
内容	戦国時代の日本は、室町幕府による統制力が衰え、全国に「戦国大名」と呼ばれる地方政権が乱立している時代でした。甲斐の武田信玄、越後の上杉謙信、相模の北条氏康、駿河の今川義元、三河の徳川家康、そして尾張の織田信長といった名が浮かんできます。しかし戦国大名は常に戦争ばかりしていたわけではありません。敵国と戦うために同盟関係を結び、戦争を有利に進めようとしたのです。これは一種の「外交」であり、現在の国際秩序同様、一定のルールがありました。 本講座では、戦国大名同士の「『外交』の作法」についてお話しし、そこから浮かび上がる戦国大名権力の特徴や、戦国時代の同盟と戦争のあり方そのものを考えていきます。				

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

お問い合わせ TEL 042-468-3222  
FAX 042-468-3211

開室日：月～金曜日 9:30～18:00  
：土曜日 9:30～15:30（祝日を除く）

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20  
www.musashino-u.ac.jp

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室 平成28年3月より南口に移転



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7 F  
(三菱東京UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 教室は講座の15分前よりお入りいただけます。  
(前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります)
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。